

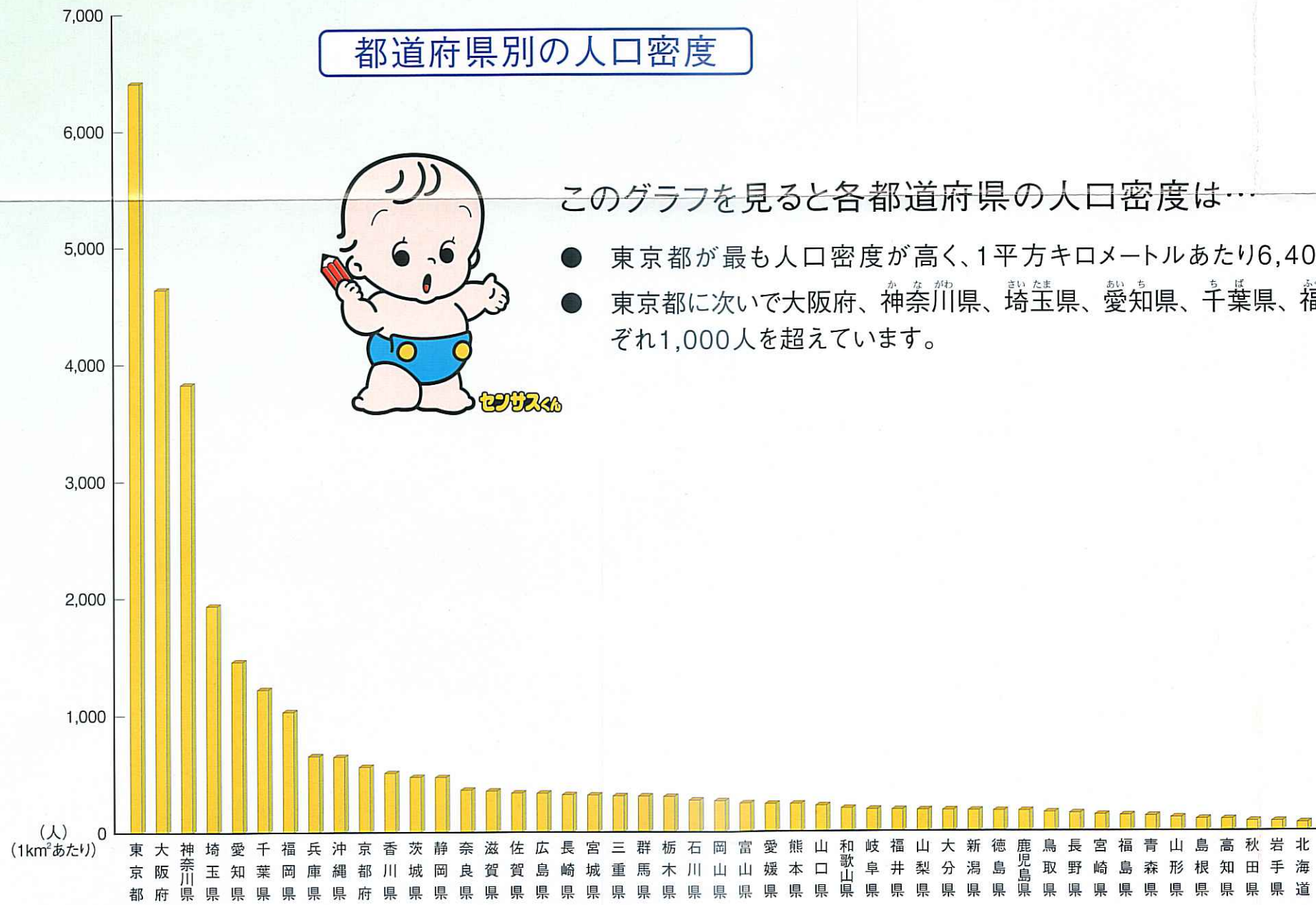
国勢調査 2020 国勢調査でわかる人口密度

この地図は、全国の市区町村ごとに人口密度を色で表したものです。

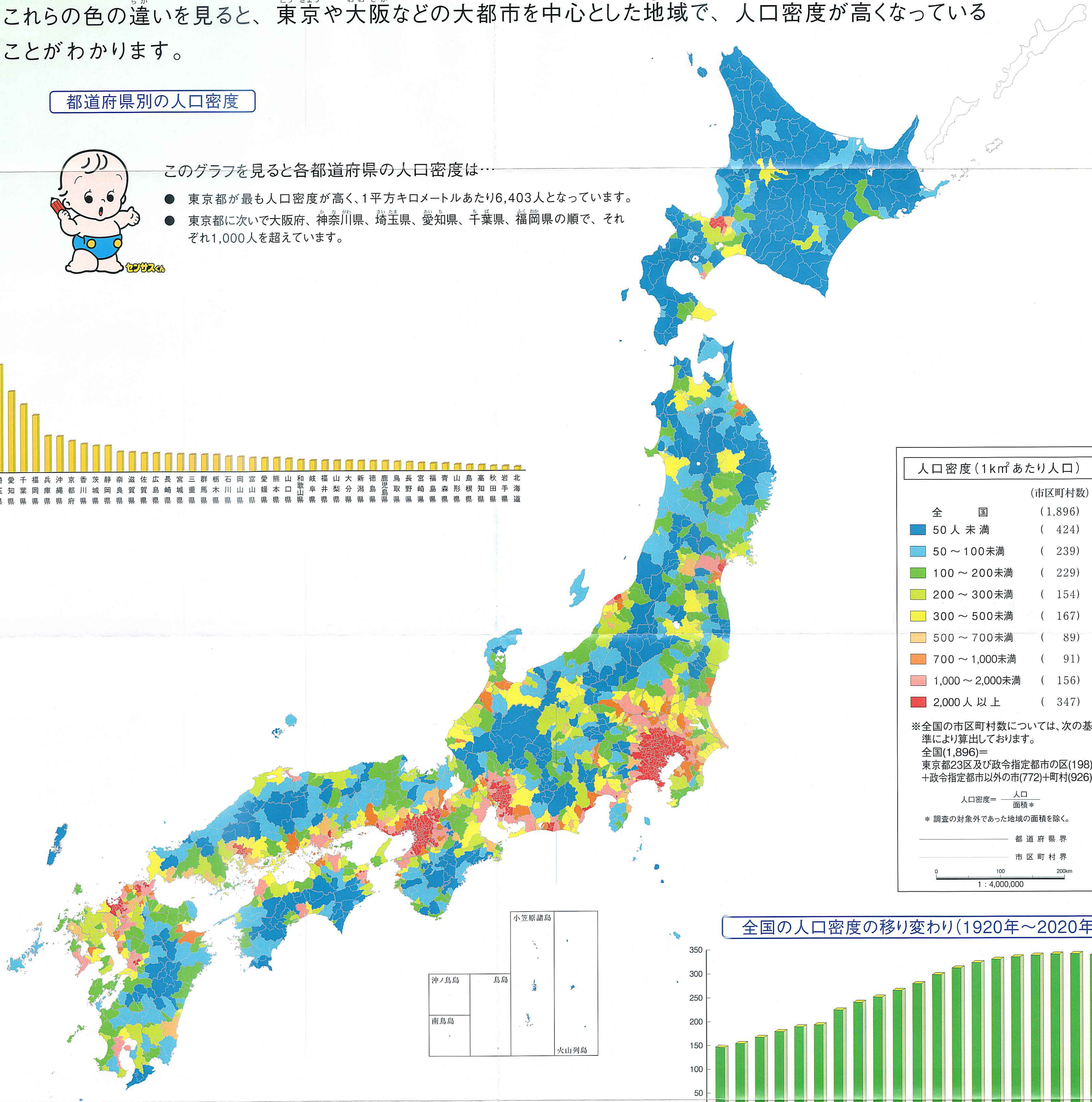
(人口密度とは、1平方キロメートルあたりの人口のことをいいます。)

人口密度が高い市区町村ほど濃い赤色になり、人口密度が低い市区町村ほど濃い青色になっています。これらの色の違いを見ると、東京や大阪などの大都市を中心とした地域で、人口密度が高くなっていることがわかります。

都道府県別の人口密度



- このグラフを見ると各都道府県の人口密度は…
- 東京都が最も人口密度が高く、1平方キロメートルあたり6,403人となっています。
 - 東京都に次いで大阪府、神奈川県、埼玉県、愛知県、千葉県、福岡県の順で、それぞれ1,000人を超えています。



人口密度 (1km²あたり人口)	
全 国	(1,896)
50人未満	(424)
50～100未満	(239)
100～200未満	(229)
200～300未満	(154)
300～500未満	(167)
500～700未満	(89)
700～1,000未満	(91)
1,000～2,000未満	(156)
2,000人以上	(347)

※全国の市区町村数については、次の基準により算出しております。
 全国(1,896)＝東京都23区及び政令指定都市の区(198)＋政令指定都市以外の市(772)＋町村(926)

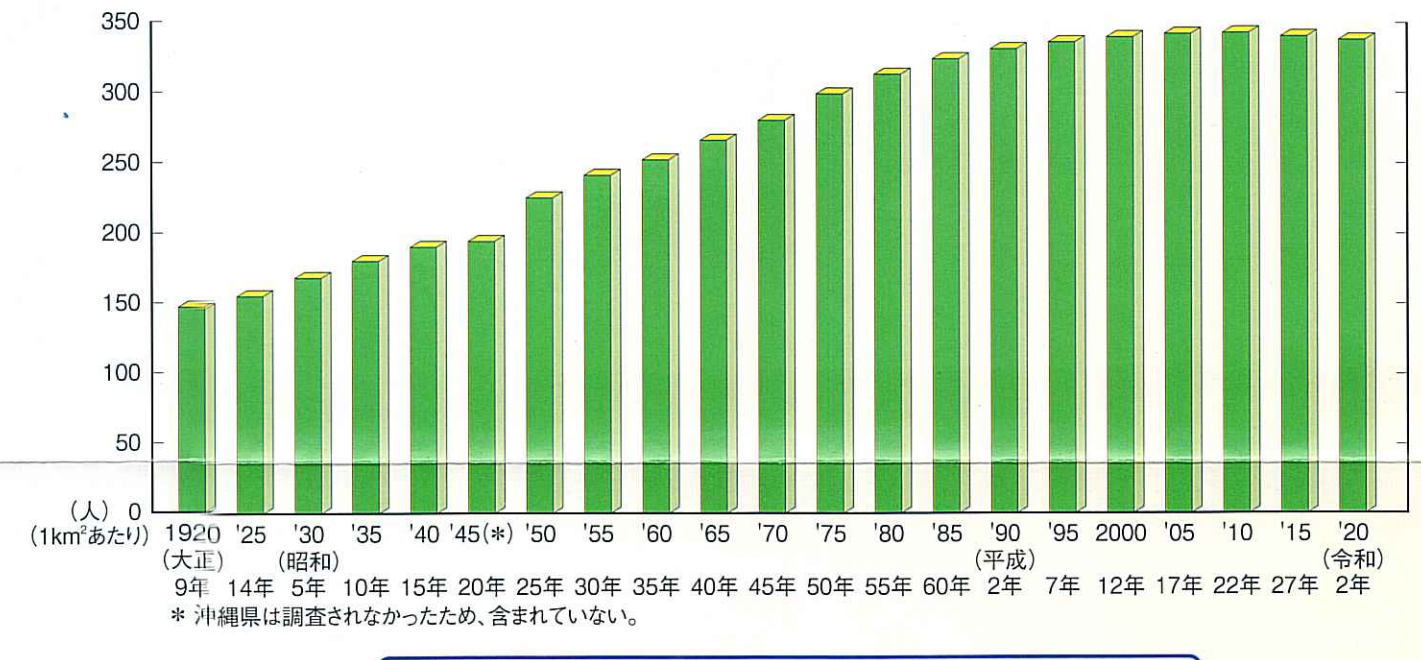
人口密度＝ $\frac{\text{人口}}{\text{面積}}$

* 調査の対象外であった地域の面積を除く。

— 都道府県界
 — 市区町村界

0 100 200km
 1 : 4,000,000

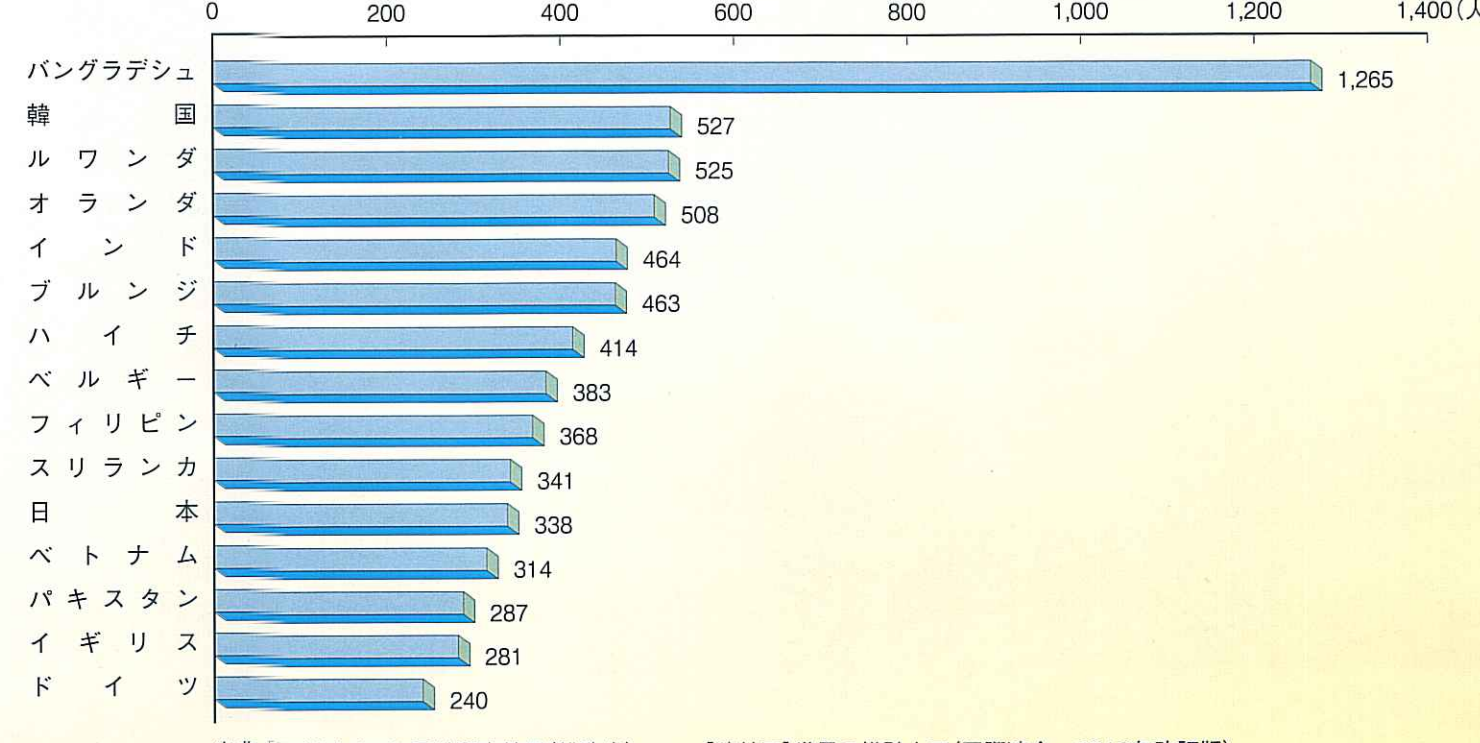
全国の人口密度の移り変わり(1920年～2020年)



このグラフを見ると人口密度は…

- 2020年(令和2年)には、1平方キロメートルあたり338人となっており、これは、第1回国勢調査が行われた1920年(大正9年)のときの147人と比べると、2.3倍に増えています。
- 世界の平均(60人)と比べると、日本は5.6倍となっています。
- 人口1000万以上の国の中では、バングラデシュ、韓国、ルワンダと続いており、日本は世界で11番目となっています。

人口1000万以上の国の人口密度



国勢調査って何??

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、1920年(大正9年)から5年ごとに行われています。

調査の結果からは、人口や世帯についてのいろいろなことがわかります。それを過去の結果とあわせてみると、人口の移り変わりなどを知ることができ、また未来の予測にも役立ちます。

センサスクンとみらいちゃん「国勢調査」のイメージキャラクターです。都道府県市区町村境界は「国土数値情報(行政区画及び湖沼データ) (国土交通省) (https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html)を加工して作成しています。